

立石ファンドによる同志社内中高の国際化推進事業
—Punahou School: Student Global Leadership Institute プログラム—
— 募集要項 —

1) 趣 旨

同志社は、新島襄による 1875 年の創立以来、建学の精神の一つに「国際主義」を掲げ、良心を手腕に運用し国際社会で活躍する人物の養成に努めてきました。同志社法人内中学校・高等学校では、2011 年度から立石信雄氏による寄付金（立石ファンド）を基に特色ある国際主義教育を展開し、英語能力の向上を図るとともに国際感覚豊かで国際社会に貢献できる生徒の育成を目的として、各種プログラムを実施しています。

そのプログラムの一貫として、2013 年度から下記の内容により同志社内中高国際化推進事業を実施しています。海外で行われるプログラムを通し、法人内高等学校の生徒同士が英語によって議論や発表を行う中で、協力し合いながら切磋琢磨し、実践的な英語力の向上を図ると共に、グローバルリーダーシップの育成を図ります。

各高等学校の生徒が積極的に本プログラムに参加されることを願っています。

2) 主 催 学校法人同志社

3) 運営委員	北 幸 史	(法人事務部長)
	橋 崎 淳 子	(同志社中学校・高等学校教諭)
	反 田 任	(同志社中学校・高等学校教諭)
	Andrea FORBES	(同志社香里中学校・高等学校教諭)
	板 東 敬 子	(同志社香里中学校・高等学校教諭)
	林 昌 美	(同志社女子中学校・高等学校教諭)
	市 川 良 大	(同志社女子中学校・高等学校教諭)
	古 城 正 裕	(同志社国際中学校・高等学校教諭)
	Sean Hanratty	(同志社国際中学校・高等学校教諭)

4) プログラム内容

① Punahou School とは

所在地：アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル

設 立：1841 年

校 長：Dr. James K. Schott

概 要：キリスト教主義会衆派系の私立学校で小学校から高等学校までの課程を備えている。
生徒数は 3,760 名。著名な卒業生にアメリカ合衆国大統領バラク・オバマがいる。

② Student Global Leadership Institute (SGLI) とは

Punahou での 40 年の伝統を持つグローバル・スタディに基づいて設立されたもので、校内にある Wo International Center が支援している。

世界規模で解決しなければならない課題を認識するとともに、それらの課題に関わって、よりよい社会を希求する若いリーダーたちを育成し、そのリーダーたちが、地域に戻り、周囲の身近な人々の意識の向上や行動実践を行うコミュニティを広げていくことができるように教育活動を行っている。

リーダーシップの育成にあたって、具体的には、創造性、問題解決能力、他者との共感、コミュニケーション能力、多文化にまたがる視野の広さ、人の輪を広げる力などを備えた人物の育成を図ろうとしている。

③ SGLI の沿革

SGLI は 2010 年 7 月に立ち上げられた。Intel Microsoft Lenovo による教育研究機関、Edward E. Ford 財団、Luke 中国研究センターがバックアップし、国際的に活躍する若者のコミュニティを育てる取り組みが可能になっている。サマープログラムとして、Punahou School のキャンパス内で集中的に 2 週間のプログラムを行うとともに、年間を通して、オンラインネットワークを通じて活動をサポートする形態をとっている。

2010 年	参加	8 校 28 名	テーマ「水の安全とサステイナビリティ (持続可能性)」
2011 年	参加	15 校 48 名	テーマ「エネルギー問題」
2012 年	参加	20 校 63 名	テーマ「健康」
2013 年	参加	25 校 79 名	テーマ「FOOD」
2014 年	参加	25 校 79 名	テーマ「The City (Urban Planning)」
2015 年	参加	25 校 81 名	テーマ「Equity, with a focus on Gender, Education, and Socio-Economic」

【2015 年 参加校】

アメリカ合衆国、イギリス、デンマーク、スウェーデン、ヨルダン、韓国、インド
ニュージーランド、中国、日本 (ICU、学習院高等科、学習院女子、慶応義塾志木)

④ スケジュール (予定)

2015 年度

1 1 月以降 各学校により参加生徒募集

3 月まで 参加生徒の決定

2016 年度

春休み

顔合わせと具体的説明 第 1 回事前学習

1 学期中 交流を持ちながら 事前学習 1～2 回 (生徒中心)

7 月 サマープログラム直前確認

夏季休暇 サマープログラム

8 月以降 ローカルアクションプロジェクトの開始

2 月 英語大会 「立石杯」での報告

2017 年年度

6 月 ローカルアクションプロジェクトのまとめ (合同)

⑤ 2週間集中サマープログラムの内容

【2015年度事例】

期 間：2015年7月19日（日）～7月31日（金）

テーマ：Equity, with a focus on Gender, Education, and Socio-Economic

内 容：講義、ディスカッション、フィールドワーク、アクティビティ

[講義の具体例]

*レクチャー

- ・有名大学教授や、ジェンダー問題や教育問題、経済などの専門家によるレクチャーとディスカッション
- ・Skypeによるレクチャー：過去の参加者がプロジェクトの実現についてのアドバイスをした。

*ディスカッション

- ・Leadershipでイメージするものを話し合っ絵にし、他のグループが解釈説明。描いたグループの補足説明。
- ・自身の国において、「Equity」を実現するためには、どのような取り組みが必要か。グループごとにディスカッションし、発表。

*アクティビティ

- ・「Equity Game」：生徒がグループに分けられ、様々な言語で書かれた質問を読み取り、解決していく。参加国それぞれの言語が用いられており、参加者が協力して行うゲーム。また、参加国それぞれの教育、ジェンダー、経済などの問題を取り上げディスカッションした。
 - ・段ボールやテープなどを使い、ボールをいかに遠くまで転がらせることができるかを競うグループワークゲーム。
- など

*フィールドワーク

- ・街頭インタビューによりデータ収集し、グループごとにプレゼンテーション。
- ・各グループが各々の地域に分かれて行動。与えられた質問の答えを町の施設・設備を探しに行き、写真におさめて、ウェブサイト掲載。
- ・Hawaiiの伝統食であるタロイモを伝統に基づいて栽培している地域の見学、伝統食lau lauの調理実習。
- ・海水と淡水がまじりあう魚の養殖池についての説明を受け、護岸補修のボランティアワーク。

【2016年度 ※予定】

期 間：2016年7月17日（日）～7月30日（土）現地

日本出発7月17日（日） 帰国7月31日（日）

テーマ：Conservation, with a focus on the conservation/protection of culture, environment, and species

宿泊先：Punahou Schoolから徒歩約20分のところにあるハワイ大学の寮を学校が借りて提供している。ベッドと机の備わった部屋が1人1部屋与えられる。

費 用：渡航費・・・立石ファンドにより負担

（エコノミークラス航空運賃、空港施設使用料、空港諸税、空港から会場までの交通費）

国内交通費・・・自己負担

海外旅行総合保険・・・自己負担

授業料、食費を含む宿泊費・・・3万円を自己負担

その他、現地での生活費・・・自己負担

⑥ 集中サマープログラム終了後の活動

- ・サマープログラムで学んだこと、考えたことを生かしながら、各地域・学校に戻って、周囲の身近な人々の意識の向上を図り、行動を起こすよう活動する（ローカルアクションプロジェクト）。
- ・月に1度、進捗状況を報告したり、SGLIからの質問に回答することなどが義務付けられている。最終的なまとめを6月に行う。
- ・回答や報告を共有することにより、交流関係を持続することも目的とされている。

- 5) 応募資格 募集時に高校1・2年生であること。単に語学研修を目的とするのではなく、問題意識を持ち、世界的な視野をもって意欲的に学び、コミュニケーションを図ろうとする態度を備えていること。英語によるコミュニケーションに支障がないことが望ましい。
- 6) 応募方法 応募資料を各学校運営委員まで提出
- 7) 応募資料 ①所定の応募用紙
②誓約書
- 8) 応募期間 2015年11月から2016年3月まで
※各学校への応募期間は各学校毎に設定
- 9) 参加者数 法人内各学校から1名 計4名
(定員に満たない場合は、法人として調整を行う)
※法人を代表して教員1名がサマープログラムの事前学習、引率、サマープログラム後のローカルアクションプロジェクトのサポートをします。